

MOMAT コレクション 今期も見どころもりたくさん！ 「シュルレアリスム 100 年」、「生誕 100 年 芥川（間所）紗織」、 「フェミニズムと映像表現」ほか

今期も大充実！ 昨年当館のコレクションに加わったマックス・エルンストの傑作を初公開する「シュルレアリスム 100 年」、近年注目される芥川（間所）紗織の所蔵作品を全点公開する小特集、女性たちのラディカルなビデオ・アートを紹介する「フェミニズムと映像表現」は見逃せません。
選び抜かれた作品を通して、歴史とともにフレッシュな話題を紹介する所蔵作品展「MOMAT コレクション」をぜひお楽しみください。

会期：2024 年 9 月 3 日（火）～12 月 22 日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4-2 階



[1] 「シュルレアリスム 100 年」より
北脇昇《独活》1937 年



[2] 「生誕 100 年 芥川（間所）紗織」より
芥川（間所）紗織《女(B)》1955 年



[3] 「フェミニズムと映像表現」より
ダラ・バーンバウム《テクノロジー／トランス
フォーメーション：ワンダーウーマン》1978-79 年
Courtesy of Electronic Arts Intermix (EAI), New York

シュルレアリスム 100 年（5 室）

今年はアンドレ・ブルトンが『シュルレアリスム宣言』を発表してからちょうど 100 年。これを機に、世界に波及したシュルレアリスムの作品や資料を紹介します。昨年、当館はブルトンの著作にも掲載されているマックス・エルンストの代表作のひとつ《砂漠の花（砂漠のバラ）》（1925 年）を収集しました。どのような絵なのかは、見てのお楽しみ！



[4] イヴ・タンギー《聴者の耳》1938 年

ポイント

- コレクションの新たな目玉となるエルンストの作品をお披露目。
- 会期中にはシュルレアリスム宣言 100 年記念講演会も開催予定。

☑ 「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を、会期ごとに 3 フロア 12 の部屋に分けて展示します。19 世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・小川

TEL：03-3214-2565（直通） FAX：03-3214-2576

Email：pr-f@momat.go.jp



生誕 100 年 芥川（間所）紗織（8 室）

1950 年代から前衛画家として注目された数少ない日本の女性アーティストの一人、芥川（間所）紗織。生誕 100 年を記念して、当館所蔵の芥川の全作品 6 点とともに、同時代の作品を展示します。独自のろうけつ染めによる鮮やかな色彩と、迫力ある構図が見どころです。なおこの展示は、芥川（間所）紗織アーカイブ実行委員会によるプロジェクト「Museum to Museums」の一環です。

ポイント

- 今年は全国各地の美術館で、芥川（間所）の作品が展示されます。
- 10 月 1 日から 1 階企画展ギャラリーで開催する「ハニワと土偶の近代」には芥川（間所）の大作が出品予定。



[5] 芥川（間所）紗織《神話 神々の誕生》
1956 年

コレクションによる小企画

フェミニズムと映像表現（ギャラリー 4）

女性アーティストによる 1970 年代から現代までの映像表現を、フェミニズムをテーマに紹介します。ビデオ・カメラというテクノロジーの登場は、美術の歴史にも大きな変化をもたらしました。マスメディアの情報を問い返し、自ら発信者にもなれるこの技術を巧みに活用してきた作家たちの実践にご注目ください。

出品作家：ジョン・ジョナス、出光真子、リンダ・ベングリス、
マーサ・ロスラー、ダラ・バーンバウム、キム・スージャ、
遠藤麻衣 × 百瀬文



[6] マーサ・ロスラー《キッチンの記号論》1975 年
Courtesy of Electronic Arts Intermix (EAI), New York

ポイント

- テーマと作品解説をまとめた無料パンフレットを配布します。
- 女性に着目して約半世紀のビデオ・アートを見直す貴重な機会です。



「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を、会期ごとに 3 フロア 12 の部屋に分けて展示します。19 世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・小川

TEL : 03-3214-2565 (直通) FAX : 03-3214-2576

Email : pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しょぞうさくひんてん もまっとこれくしょん)
(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4 階から 2 階

会期：2024 年 9 月 3 日 (火) ～ 12 月 22 日 (日)

休館日：月曜日 (ただし 9 月 16・23 日、10 月 14 日、11 月 4 日は開館)、9 月 17・24 日、
10 月 15 日、11 月 5 日

開館時間：10:00-17:00 (金曜・土曜は 10:00-20:00) ※入館は閉館 30 分前まで

観覧料：一般 500 (400) 円 / 大学生 250 (200) 円

※ () 内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の 17 時以降は、割引料金 (一般 300 円、大学生 150 円)
※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者 (1 名) は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b 出口) 徒歩 3 分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「ハニワと土偶の近代」

2024 年 10 月 1 日 (火) ～ 12 月 22 日 (日)

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/560>

「ハニワと土偶の近代」のチケットで、入館当日に限り、

所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー 4 「フェミニズムと映像表現」も
ご覧いただけます。

【ハニワと土偶の近代展 プレスお問い合わせ先】

「ハニワと土偶の近代」広報事務局 (共同 PR 内)

E-mail haniwadogu-kindai-pr@kyodo-pr.co.jp TEL 03-6264-2382



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。1952 年に開館し、2022 年 12 月 1 日に開館 70 周年を迎えました。最大の特徴は重要文化財 18 点 (うち 2 点は寄託) を含む 13,000 点を超える国内最大級のコレクション。19 世紀末から今日まで、国を代表する多数の名作を所蔵しています。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・小川

TEL : 03-3214-2565 (直通) FAX : 03-3214-2576

Email : pr-f@momat.go.jp

